

雲

暖かく、そしてたおやかな午前を過ぎ
午後からは北風が吹き出していた

すると夕刻近くなるにつれ
不思議な雲が、東の空にだけ現れ出た
忍び寄るように

他の方には青い空だけがあり
その雲はまるで片隅からせり出すようにして
次第次第に成長してくるように見えた

辺りに似つかわしくもなく
濃いねずみ色に光っていた

既に傾きはじめた日の光は
その雲を貫こうとしてはいたが
思いもかけず行き先を変えられ
てんでな方向へと散乱させられた

雨を降らせようというでもなく
太陽をさえぎろうというでもなく
ただひととき顔を見せただけというように
既にその雲は消滅を予告していた

何と傍若無人なお前のくせに
注がれる視線に射すくめられたか
今日で3日続きではないか
一体何を伝えに
お前はひととき現れ出たものか

(1999.12.28)